



韓国における口蹄疫の発生について

2018年3月、韓国京畿道の豚飼育農場において、2017年2月以来約、13か月ぶりに口蹄疫の発生を2件確認しました。豚は牛と比較して多量のウイルスを排せつすることから、口蹄疫ウイルスの濃厚汚染が危惧され、日本への侵入するリスクが高くなっています。畜産農家を含む畜産関係者の方におかれましては、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期発見に万全を期していただくようお願いいたします。

韓国で口蹄疫が発生!

今一度、発生予防を徹底しましょう!

韓国では、2018年3月に13か月ぶりに豚で口蹄疫（A型）の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

過去の日本での発生をみると
 まず韓国で発生しています!



2000年 → 2000年

2002年

2010年 → 2010年
 2011年

2014年 → 現在

韓国における口蹄疫の発生状況 (2018年3月以降)

2018年4月2日現在

京畿道(2件)

3月26日 金浦(キンポ)市 豚 (A型)
 3月28日 金浦(キンポ)市 豚 (A型)



● : 発生地点

発生確認件数: 2件
 (A型: 2件)

※ 日は症状の発現日又は検体の採取日
 (韓国農林畜産食品部資料より)

農林水産省HPより

侵入する可能性
 は非常に高い!!

口蹄疫を侵入させないために効果的な消毒を！！

◎ 効果的な消毒のポイント

- 踏込消毒槽の消毒液が汚れていると効果が薄れるので、**定期的に交換**しましょう。
- 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分**や**運転席の足元スペース**も消毒しましょう。

《要注意》

- ★ 逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適です！
- ★ クエン酸や炭酸ソーダが有効ですが、同時に使用しないでください！

推奨される踏込消毒槽の設置方法



- ② 消毒液の槽
↑
① 水洗の槽

フランスにおけるオーエスキー病の発生について

2018年3月5日、フランスにおいて豚のオーエスキー病が発生しました。今回の発生は2010年以来となり、野生いのししとの接触が原因との疑いが報告されています。日本においても野生いのししから本病の抗体が確認されているため、野生動物の侵入防止等をふまえた飼養衛生管理を徹底しましょう。

なお、国内では3県（茨城県、群馬県、鹿児島県）でオーエスキー病清浄化が進められています。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生年月日	件数	畜種	型
高病原性鳥インフルエンザ	台湾	平成30年2月11日～3月12日	19件	家きん	H5N2
	韓国	平成30年3月13日～3月16日	4件		H5N6
	中国	平成30年2月22日			H5N6
		平成30年2月17日			H7N9
口蹄疫	韓国	平成30年3月26日		豚	A
	韓国	平成30年3月27日		豚	検査中
	モンゴル	平成30年1月9日～3月6日	15件	牛・羊・山羊	○
	中国	平成30年2月24日		羊	○
	ロシア	平成30年2月10日		牛・羊・山羊・豚	○

農林水産省ホームページより

平成30年4月4日現在



毎月**20日**はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

